

PCB 廃棄物処理基本計画に基づく PCB 廃棄物の発生量、保管量及び処分量の見込み

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画において、毎年度、高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物の発生量、保管量及び処分量の見込みを示すこととしている。

表 1 に、大型変圧器等、大型コンデンサー等、安定器、低圧変圧器及び低圧コンデンサーで小型のもの（以下「小型変圧器・コンデンサー」という。）並びに感圧複写紙、ウエス、汚泥及び塗膜等（以下「その他汚染物」という。）について、平成 30 年度までの PCB 廃棄物の処分量、平成 30 年度末時点の PCB 廃棄物の保管量及び PCB 使用製品の所有量並びに令和元年度以降の発生量及び処分量の見込みを示す。

表 1 高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の発生量、処分量、保管量及び所有量の見込み（丸括弧内は昨年度の数値）

年度	発生量※ <sup>1</sup>	処分量※ <sup>2</sup>	保管量※ <sup>3</sup>	所有量※ <sup>4</sup>
平成30年度 まで	—	大型変圧器等 15,187台 (14,682) 大型コンデンサー等 321,869台 (298,172) 安定器 約2,900,000個 (約2,400,000) 小型変圧器・コンデンサー 約1,600,000個 (約1,100,000) その他汚染物 約670トン (約520)	大型変圧器等 965台 (1,640) 大型コンデンサー等 36,206台 (53,404) 安定器 約2,400,000個 (約2,500,000) 小型変圧器・コンデンサー 約1,800,000個 (約2,100,000) その他汚染物 約650トン (約540)	大型変圧器等 117台 (165) 大型コンデンサー等 3,278台 (4,344) 安定器 約110,000個 (約120,000) 小型変圧器・コンデンサー 約5,100個 (約5,600)
令和元年度 以降	大型変圧器等 1,082台 (1,805) 大型コンデンサー等 39,484台 (57,748) 安定器 約2,500,000個 (約2,600,000) 小型変圧器・コンデンサー 約1,800,000個 (約2,100,000) その他汚染物 約650トン (約540)	大型変圧器等 1,082台 (1,805) 大型コンデンサー等 39,484台 (57,748) 安定器 約2,500,000個 (約2,600,000) 小型変圧器・コンデンサー 約1,800,000個 (約2,100,000) その他汚染物 約650トン (約540)	—	—

- ※1 平成30年度末時点の保管量と所有量の合計量。
- ※2 「平成30年度まで」はJESCOにおける処分量を基に、換算が必要な安定器及び小型変圧器・コンデンサー並びにその他汚染物は、容器重量を除く0.92を乗じ、安定器を2.8kg/個、小型変圧器・コンデンサーを0.26kg/個で換算。  
「令和元年度以降」の数量は、平成30年度末時点の保管量と所有量の合計量。
- ※3 大型変圧器等及び大型コンデンサー等は、PCB特措法の届出情報、JESCO登録情報、電気事業法の届出情報を個別に突合して算出。  
安定器及び小型変圧器・コンデンサー並びにその他汚染物は、平成30年度末時点のJESCOの搬入荷姿登録量(ト)を基に容器重量を除く0.92を乗じ、安定器を2.8kg/個、小型変圧器・コンデンサーを0.26kg/個で換算。
- ※4 大型変圧器等及び大型コンデンサー等は、PCB特措法の届出情報、JESCO登録情報、電気事業法の届出情報を個別に突合して算出。安定器及び小型変圧器・コンデンサーは、平成29年度末時点のPCB特措法に基づく届出情報(使用中の数量)を基に、安定器を2.8kg/個、小型変圧器・コンデンサーを0.26kg/個で換算。

また、表2に、平成30年度におけるPCB廃棄物量の変化を示す。

表2 平成30年度における高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の発生量、保管量及び所有量の変化並びに処分量

発生量変化	保管量変化	所有量変化	処分量
大型変圧器等 -723台	大型変圧器等 -675台	大型変圧器等 -48台	大型変圧器等 505台
大型コンデンサー等 -18,264台	大型コンデンサー等 -17,198台	大型コンデンサー等 -1,066台	大型コンデンサー等 23,697台
安定器 約100,000個	安定器 約100,000個	安定器 約10,000個	安定器 約500,000個
小型変圧器・コンデンサー 約300,000個	小型変圧器・コンデンサー 約300,000個	小型変圧器・コンデンサー 約500個	小型変圧器・コンデンサー 約500,000個
その他汚染物 約110トン	その他汚染物 約110トン		その他汚染物 約150トン

平成30年度も高濃度PCB廃棄物の処分が着実に進捗している。

大型変圧器等、大型コンデンサー等、安定器、小型変圧器・コンデンサー等については、保管量、所有量ともに減少しており、掘り起こし調査等による新規発見量よりも処分量の方が多いことがわかる。その他汚染物については、平成30年11月より各省庁、地方公共団体及び民間事業においてPCB含有塗膜に係る調査が行われていること等により保管量が増加している。